

# The Whisper from Amherst

## ～エミリオのささやき～

警備保障会社セコムによると、スーツを着た訪問販売員、工事関係者、普段着の住人等になりすまして泥棒は事前に下見をします。棲んでいる人の一週間の生活パターンを調べて、留守になる時間帯や来客数をつかむなど、時間をかけて調べます。

主な下見のポイントは、扉や窓が施錠されているか開けっ放しか、入りやすいか逃げやすいか、近隣からの見通しが良いか悪いか、通行人の数、家族構成や生活パターン、窓のクレセント錠は開けやすいタイプかなど…。専門的な見地では、クレセント錠は窓と窓の隙間をなくして室内の気密性を高めるための「締めり金具」であり、防犯性能を考えた建具ではないとのこと。

今から約 200 年前のアメリカで、エミリオが見立てた「泥棒が好きそうな構えの家」を読んでみましょう。

アイ ノ ウ サ ム ロウンリー ハウズィズ オフ ザ ウロウドゥ  
' I know some lonely houses off the road'

I know some lonely houses off the road 道から離れた所に淋しい家が一軒

ア ウラバードゥ ライク ザ ルック オヴ  
A robber'd like the look of,- 泥棒が好きそうな構え一

ウドゥン バードゥ  
Wooden barred, 木のカンヌキ

アンドゥ ウィンドウズ ハギング ロー  
And windows hanging low, 低い窓

インヴァイティング トゥ  
Inviting to 入りたくなる

ア パーティコウ  
A portico, 玄関一

ウェア トゥ クドゥ クウリーブ  
Where two could creep 二人が忍び込める一

ワン ハンドゥ サゝ トールズ  
One hand the tools,

ディ アザー ピープ  
The other peep

トゥ メイク シューア オールズ アスリープ  
To make sure All's Asleep

オウルドゥ ファッションドゥ アイズ  
Old-fashioned eyes,

ナトゥ イ-スィ トゥ サプライズ  
Not easy to surprise!

一人が道具を渡し—

もう一人が中をのぞき—

寝しずまったか確かめる—

古いものを見慣れていれば—

驚きはしない！

ハウ オーダウリー ザ キッチンドゥ ルック バイ ナイトゥ  
How orderly the kitchen'd look by night, 暗がりでは整理された台所

ウィズ ジャストゥ ア クロック  
With just a clock,—

時計がひとつ—

バトゥ ゼイ クドゥ ギャグ ザ ティック  
But they could gag the tick,

チクタクを黙らせたのか—

アンドゥ マイス ウオントゥ バーク  
And mice won't bark;

ネズミも—

アンドゥ ソウ ザ ウォールズ ドントゥ テル  
And so the walls don't tell,

壁も—静かに—

ナン ウィル  
None will.

音を立てない—

ア ペア オヴ スペクタクルズ アジャー ジャストゥ ステア  
A pair of spectacles ajar just stir—

開いたままのメガネがうごく——

アン アールメナクス アウエア  
An almanac's aware.

暦の本が見張っている—

ワズ イトゥ ザ マトゥ ウィンクトゥ  
Was it the mat winked,

光ったのはマットかな

オァ ア ナー ヴァ スター  
Or a nervous star?

神経質な星かな？

ザ ムーン スライズ ダウン ザ ステア  
The moon slides down the stair

月が階段を下りてきて

トゥ スィ フーズ ゼーア  
To see who's there.

あたりを見回す！

ゼーアズ ブランダー ウェーア  
There's plunder, -where?

タンカードゥ オア スプーン  
Tankard, or spoon,

イヤリング オーア ストーン  
Earring, or stone,

ア ウオッチ サ ム アンシエントゥ プロウチ  
A watch, some ancient brooch

トゥ マ チ ザ グ ラ ン マ マ  
To match the grandmamma,

ステイドゥ スリーピング ゼーア  
Staid sleeping there.

頂き物があるぜーどこに？ー

ジョッキにスプーンー

イヤリングに宝石

懐中時計一年代物のブローチ

そこでぐっすり寝ている

おばあちゃんに合うー

デイ ウラトウルズ トゥー  
Day rattles, too,

スティールズ スロウ  
Stealth's slow,

ザ サン ヘズ ゴトゥ アズ ファー  
The sun has got as far

アズ ザ サードゥ スィカマー  
As the third sycamore.

スクウリームズ チャンティクリーア  
Screams chanticleer,

フーズ ゼーア  
“Who's there?”

一日もごそごそしだす

そつとしのび足ー

太陽は三番目の

イチジクの木までとどいたー

雄鶏が声を上げる

「誰だい？」

アンドゥ エコウズ トウレイン ズアウエイ  
And echoes, trains away,

スニーア ウェア  
Sneer-“Where?”

ウワイル ディ オウルドゥ カップー ジャズ タスティアー  
While the old couple, just astir,

ファンシィ ザ サンウライズ レフトゥ ザ ドーア アジャー  
Fancy the sunrise left the door ajar!

反響し、長くのびるー

せせら笑いー「どこにだって」ー

老夫婦は起きあがり

日の出がドアを 半開きにしたと思っている。

(「へ短調作品34」訳 より)

エミリィが生まれ育ち、生涯を終えたのは小さな田舎町。泥棒はこの家の下調べは済んでいるのでしよう。空き巣狙いではなく、老夫婦がのんびり暮らす民家のように。キッチンには古時計とねずみ。食べこぼしや保存食を狙って夜中に活動するねずみは、イギリスのわらべ歌‘Hickory Dickory Dock’がベースになっているのかもしれませんが。

欧米ではチャリティショップを含め、中古品屋が日本よりもたくさんあり、骨董品や中古品に対する抵抗感が日本より少ないので需要も多く、現金以外の品物も盗難、そして売買の対象になりやすいです。ですからご近所同士でお互いの家や地域を見守っているというアピールをするための看板やステッカーを見かけます。

さて、この家の老夫婦はこの先どうなるのでしょうか。

Nellie’s Mom



古時計とねずみ



防犯用の看板



防犯用のステッカー